

会 議 議 事 録

1 会議名	第14次第3回長岡市廃棄物減量等推進審議会
2 開催日時	令和7年7月28日（月曜日） 午前10時から午前11時30分まで
3 開催場所	寿クリーンセンター2階会議室
4 出席者名	（委員） 金澤会長、金内副会長、柿本委員、畔上委員、佐藤委員、小林（暁）委員、山井委員、松永委員、阿部（和）委員、関矢委員、皆川委員、丸山委員、若月委員、菰澤委員、鈴木委員 （事務局） 佐山環境部長、近藤環境政策課長、安達環境事業課長、数間環境事業課企画担当課長、本田環境事業課課長補佐、児玉環境事業課企画担当課長補佐、高野環境事業課環境美化担当係長、武士俣環境事業課企画推進担当係長、櫻井環境事業課主査、内山越路支所地域振興・市民生活課総括副主幹、日浦山古志支所地域振興・市民生活課総括副主幹、小林小国支所地域振興・市民生活課市民窓口・環境担当係長、納谷寺泊支所地域振興・市民生活課市民窓口・環境担当係長、斎藤栃尾支所地域振興・市民生活課総括主査、平澤川口支所地域振興・市民生活課主査
5 欠席者名	（委員） 高橋委員、阿部（浩）委員、小林（久）委員、西澤委員、川崎委員、霜鳥委員
6 議題	1 議題 一般廃棄物処理手数料（粗大ごみ）の改定について（諮問） 2 報告事項 （1）令和6年度長岡市一般廃棄物処理実施計画と実績について （2）令和7年度作製分家庭用燃やすごみ指定袋中サイズについて （3）リチウムイオン電池の回収について
7 審議結果の概要	- 一般廃棄物処理手数料（粗大ごみ）の改定について意見等を伺った - 令和6年度長岡市一般廃棄物処理実施計画と実績について報告した。 - 長岡市分別収集計画（第11期）について報告した。

	・令和7年度作製分家庭用燃やすごみ指定袋中サイズについて報告した。 ・リチウムイオン電池の回収について報告した。
8 審議の内容	
環境部長	・あいさつ
環境事業課 企画担当課長補佐	・新任委員紹介 ・資料確認
会長	・委員の互選により副会長選出 金内委員を選出
環境事業課長	(議題「一般廃棄物処理手数料(粗大ごみ)の改定について(諮問)」資料1により説明)
委員	趣旨に、ごみの発生抑制と適正な受益者負担とありますが、処理経費の高騰についても入れた方が良くと思います。
環境事業課長	ありがとうございます。 実際に高騰しておりますので、含めたいと思います。
委員	市として根拠があつての倍にするということはとても理解できますが、民間企業も努力をして抑えたいで値上げをし様々なものが高騰している中で、市民の立場としては、一気に倍は高いなというのが率直な感想です。
会長	ありがとうございます。頷いていた方もいましたし、リアルな感想だったと思います。それも踏まえ次回までに検討いただければと思います。
委員	他市と比較したときに近隣市の考え方やどのような動きをするのかも捉え方の1つだと思います。金額自体が高いとは思いますが、上げ幅が2倍になる根拠としては不十分だと感じます。なんでも高騰しているので、1.5倍にするとか徐々に上げてもらうなどしてもらいたいと思います。他市の状況を教えてください。
環境事業課長	粗大ごみについて値上げの情報は入ってきておりませんが、指定袋については、有料化後年数が経過しているため、値上げしていかなければならないと意識している自治体が多いです。最近は十日町市が値上げをし、村上市も検証中と新聞報道されています。長岡市も意識はしています。新潟市は持ち込み料金を値上げする動きがあります。何を上げるかは各市の思いがあり、長岡市は家庭から日々出るものではなく、処理経費が実際にかかっている粗大ごみから値上げを考えております。 料金だけでなく、品目ごとの料金設定も各市様々です。例えば自転車は長岡市は200円ですが、三条市は、1,000円。タンスは長岡市600円か1,000円ですが、新潟市は300円か大きいものでも500円。石油ストーブは長岡市200円ですが、三条市は300円。電子レンジは長岡市200円ですが、見附市は600円です。処理施設の都合もあると思いますが、品目についてもそれぞれですので、長岡市の品目についても考えていきたいと思っております。

委員	ありがとうございます。 若干値上がりは仕方ないですが、1,000円が2,000円となると色々なものが値上がりしているのも、またこれも値上がりかとなるので、上げ幅について検討願いたいです。
環境事業課長	本日皆さんからご意見いただき、次回までに検討したいと思います。全て希望通りにはなりませんが、沢山のご意見をお聞きし、生かしたいと思いますのでご発言よろしくお願い致します。
会長	金額が上がったことによりリユースが相対的に増えていく良い事例になるような、ポジティブな展開になると良いと思います。審議会冠にあるように「廃棄物減量等」のご意見もいただけるとよいと思います。 また、1,000が2,000円という上がり方が気になっている皆さんの思いが事務局に伝わったと思いますし、検討いただけていると思っています。 ほかにご意見ございますでしょうか。 本件は丁寧に進めるため、11月には皆さんから一言ずつご意見を聞けるようにしたいと思いますので、頭の片隅に置いておき、何かありましたら次回ご発言いただければと思います。 では、次第4報告事項に移ります。
環境事業課 企画担当課長	(報告事項(1) 令和6年度長岡市一般廃棄物処理実施計画と実績について 資料2により説明) (長岡市分別収集計画(第11期)について 資料により説明)
環境事業課長	(報告事項(2) 令和7年度作製分家庭用燃やすごみ指定袋中サイズについて チラシにより説明) (報告事項(3) リチウムイオン電池の回収について チラシにより説明)
委員	各ごみステーションに貼る看板はどのようなものですか。
環境事業課長	イメージでは、現在、各ステーションにある「分け方と出し方」の看板と同じ厚さや材質を考えております。
委員	周知方法は沢山あった方がいいと思うので良いと思います。
委員	ごみは家で分別して口を縛って持っていくので、ステーションで見ても入れたものを取り出すのが面倒でそのまま出す人がいると思います。これはこれで良いのですが、回覧ではなく、各家庭にしっかりと保管できる配布物で周知したほうが良いと思います。 電池交換できない時計でリチウムイオン電池なのか不明のため、分別に困っています。どのように捨てたらよいですか。 プラスチックの分別について、全国共通ですか、長岡市だけですか。
環境事業課長	周知については、作成するときから、ステーションに持っていく時には既に袋に入っているという意見がありましたが、出す度に目にしてもらえるようにステーション看板を設置することとしました。 お話にあったような時計については、燃やさないごみとして収集しています。 プラスチックについては、法律で決まっており、取り組む時期はそれぞれの

	自治体に任されています。長岡市はプラスチック容器包装については、市内に処理事業者がありましたので、全国的にも早い時期に取り組んでいます。が、まだ取り組んでいない自治体もあります。また、今回のプラスチック製品の法律ができてから、製品と容器包装を一緒に集めることにした自治体もあります。家庭ごみの集め方は自治体により異なりますが、基となる法律は全国共通です。
環境事業課 企画担当課長	海洋プラスチックやワンウェイプラスチックを無くしましょう、プラスチックをしっかりと自主回収して再資源化しましょうとなっています。 長岡市は、令和11年度からプラスチック製品の分別収集開始を検討しています。製品の全部がプラスチックで作られてなければなりませんので、一部金属やゴムを使用しているものは対象になりません。現在、大きさをどの程度までとするのか検討していますし、委託先の処理施設の設備改修が必要になってきます。今後、処理方法や処理ルートも検討します。審議会でも皆さんのご意見をお伺いしたいと思いますのでよろしくお願いします。
委員	リチウムイオン電池を拠点回収で回収してもらい助かっています。誤って乾電池が出された場合回収してもらえるのでしょうか。
環境事業課長	乾電池が出されていても一緒に回収し、こちらで分別します。また、今後、乾電池も一緒に回収するかを内部でも検討しております。
委員	カーボンオフセットの資料が一般の人にはわかりづらいです。
環境事業課長	わかりやすい例があれば提示するなどし、資料を修正したいと思います。
会長	先ほど、2名の委員からお話がありましたが、不安に思う物は別で出してもらい、リチウムイオン電池を使ってなかったとしても、回収してもらった方が安全だと思いますし、その様な周知も大切かなと思いました。今後、不安を取り除くような周知も大切だと思いますのでよろしくお願いします。
委員	温暖化の一因にごみの焼却がありますので、私たちは委員としてごみを減量することをもっと真剣に考えて、啓蒙活動をしていかないとだと思います。リチウムイオン電池は、電車内で火事が起きたりしています。発火させないような啓蒙も必要だと思います。アオーレでも回収するようになって良かったです。
委員	地域の古紙回収が減ってきているように感じます。環境活動の啓蒙としても、子どもたちが古紙を集めることから地球を守ることを考えていくことが大切だったのではと思います。資源回収奨励金の現状を心配しています。また、町内のごみステーションを変更する必要が出てきました。変更手続きを教えてください。
環境事業課長	ステーションの変更については、移動先候補をご相談いただき、収集できる場所かどうか現場を確認します。通年同じ場所における町内ばかりではなく、折り畳み式収納枠を1週間ごとに当番の家の前などに移動している町内もあります。状態によっても変わってくると思いますので相談いただければと思います。 資源回収奨励金の実績は減少してきております。新聞を購読する家庭が減少

	していること、古紙を市に出さなくても店頭など他で回収していること、子ども会の少子化とコロナ禍以降集まる機会が減少していることが考えられます。回収団体も減少し、登録団体のうち実際に活動しているのは27～30%程度、回収量も減少してきています。古紙全体の回収量は減少してきていますが、段ボールの量は増加しています。子ども会は、保護者が子どもと一緒に活動することをどう考えておられるかですが、障害者施設は、今も定期的に地域を回って活動をしています。ごみ処理基本計画の中で活動に対して補助金交付をすると決めておりますので、次の改定の時期にまた現状を報告させていただきながら検討していければと思います。
会長	子ども会の活動は保護者も一緒に行うので、少子化と共働きの家の増加により、活動自体をかなり負担に感じ、昔のような活動が難しくなっていることもあると思います。良い取組みを維持できればということもありますし、現状もありますので難しいところです。今の子どもたちは、環境教育は凄く充実し勉強しているので、学んだことと実際が繋がると良い教育になるだろうなと思いました。 そのほかございますでしょうか。 では、本日本日予定していた審議は以上となります。 諮問事項について、会議中にもお話ししましたが、次回の審議会では皆さんにご意見をお聞きますので、よろしくお願いします。 進行を事務局にお返しします。
環境事業課 企画担当課長補佐	・ 閉会 次回審議会は11月ごろ予定。日程は改めて連絡

9 会議資料
別添のとおり